

## 第45巻 第3号 予告

### 特集「医師の卒後公衆衛生教育」

1. 公衆衛生医の卒後研修の現状……………西田茂樹
2. 大学での卒後公衆衛生教育  
—— 公衆衛生連合大学院構想とその後 —— ……青山英康
3. 医師の卒後公衆衛生教育  
—— Professional School の視点から —— ……高原亮治
4. 保健所長としての医師教育……………中原俊隆
5. 公衆衛生教育従事者からみた保健所医師教育  
—— 卒前教育の現状をふまえて —— ……大原啓志
6. 行政現場からみた公衆衛生医教育……………榎本真一
7. 諸外国の「School of Public Health」の現状 ……正林督章
8. 公衆衛生院の教育研修とその改革……………上畑鐵之丞

## 編集後記

今夏の病原性大腸菌 O-157 の襲撃は、食中毒監視ネットワークの不備からくる原因究明の遅れもついで、市民の食生活に不安をつのらせ、食文化をも脅かし、皮肉にも公衆衛生が再認識された事件でした。

初めての編集委員会は熱心にきちんと論議がなされ、軽い意見さえ持ち合わせのなかった私にとって、口をはさむ余地はなくとも、思っていたより豊かな時の流れでした。なかでも、日頃の言動からマイナス思考と思っていた委員が、前向きに論理的に話されるのを聞き、楽しく驚くと共に、判断の難しさを学びました。

地域保健法と一連して母子保健法も改正され、1997年4月実施に向けて準備が進められている折に、現場を預かる皆様の一助にと、「母子保健のこれから」を特集に組みました。

最後になりましたが、本号の発行が遅れましたことを深くお詫び致します。

山崎省二（衛生獣医学部）